

日本の ロケット研究 発祥の地、 千葉

2022

2/6

SUN

時間 13:00~14:30

会場 千葉市科学館 7階プラネタリウム

定員 100名

対象 どなたでも ※未就学児は保護者同伴

参加費 無料

参加方法 事前申込(申込期間 1/22~2/5)

こちらの2次元バーコードまたは下記URLから
専用応募フォームにアクセスしてご応募ください
<https://forms.gle/6Pmpqf7mfKHCVNSj8>



来館時には「ご来館のみなさまへ お知らせとお願い」
を当館HPよりご確認ください。

講師 **秋山 演亮** (あきやま ひろあき)
千葉工業大学
惑星探査研究センター 主席研究員



千葉工業大学惑星探査研究センターは、JAXAと協力して「はやぶさ2」の観測データの解析や近未来に計画されている様々な探査計画を進めています。また県内でもハイブリッドロケットの開発やロケット海上打ち上げ実験なども行っています。いずれもみなさんの身近な「千葉」で進められているプロジェクトです。また千葉県は戦後日本のロケット研究の発祥の地でもあり、千葉工大は国内の多くの大学に先駆けて、近年ではメジャーとなった小型衛星を打上・運用した実績を持っています。皆さんの身近で行われてきた宇宙開発の歴史や、現在の活動に関して紹介を行います。

講師プロフィール

和歌山大学教授/千葉工業大学惑星探査研究センター主席研究員/内閣府宇宙政策委員会専門委員。理学博士。宇宙開発事業団客員研究員・宇宙科学研究所共同研究員・JAXA協働プロジェクト研究員時代に「かぐや」「はやぶさ」等のプロジェクトに参加。現在は全国の高校生・大学生を対象としたロケット打上や成層圏気球などを使った共同実験や宇宙甲子園を実施。内閣府委員としても宇宙政策の実施・海外交渉を担当、宇宙人材育成/UAEとの協力関係推進/準天頂衛星防災利用などを進める。地域や民間企業と連携し、小型衛星を使ったIoT機器の社会実装なども行っている。